

□主な内容

【第 12 回 EST 交通環境大賞表彰式・記念講演】

EST 普及推進委員会とエコモ財団は、10 月 4 日(月)14:00~16:30 に第 12 回 EST 交通環境大賞表彰式・記念講演を開催し、その様子をオンラインにて配信します。

<http://www.estfukyu.jp/forum14.html>

【第 14 回 アジア EST 地域フォーラム】

環境省及び国連地域開発センター(UNCRD)等は、10 月 18 日(月)~20 日(水)に愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」及びオンラインで第 14 回アジア EST 地域フォーラムを開催します。本フォーラムは「持続可能で強靱な交通・都市に関する国際会議 Aichi 2021」のなかで開催されます。

<http://www.env.go.jp/press/110022.html>

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 182 回)

●バッテリー交換式二輪 EV 実証実験 e やん OSAKA

【大阪大学大学院 工学研究科 助教 葉 健人】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 182 回)

●官民一体で進める路線バス利用促進と環境まちづくり

【室蘭市 都市建設部 都市政策推進課 主事 福田 滉太】

3. ニュース／トピックス

●2021 年度 グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業の「実証調査地域」を 7 地域選定しました！【国土交通省】

●空港脱炭素化プラットフォームの会員を募集します！ ~空港と民間企業の知恵を結集！~【国土交通省】

●2021 年度「新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業」の 2 次公募を開始します！【国土交通省】

●水素燃料電池船の安全ガイドラインの改訂版を公表します ~水素燃料電池船の開発・実用化がより一層促進されます~【国土交通省】

●社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業(うち LNG 燃料シス

テム等導入促進事業)の公募について【国土交通省、環境省】

- 物流分野におけるドローンの活用【国土交通省】
- 2021 年度電動トラック・バスにおける性能評価実証事業の二次公募について【環境省】
- 2021 年度バッテリー交換式 EV 開発および再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業の 1 次公募採択結果について【環境省】
- 日産自動車、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結【環境省、日産】
- 中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス ～高島町自動運転サービスの長期実証実験を 10 月 11 日(月)から開始します～【東北地方整備局、高島町】
- 電動キックボード等で公道を走る場合について ～道路運送車両の保安基準に適合していないといけません～【関東運輸局】
- 2021 年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰「京都バス株式会社」「八尾市グリーン交通・配送推進協議会」が受賞【近畿運輸局】
- 交通防災情報統合 web サイト「はこぼうマップ」の実証実験を開始【箱根町、横浜国立大学】
- 空飛ぶクルマの実現に向けた実証実験」に対する補助金の交付を決定しました【大阪府】
- 神戸市との協働による 2021 年度上半期 Urban Innovation KOBE に採択 ～余暇・観光 MaaS アプリ「Horai」を用いた地域住民の潜在的ニーズの発掘により、with/after コロナのライフスタイルの多様化に伴う新たなマイクロツーリズムの促進を目指す～【神戸市、scheme verge】
- 2050 年に CO<sub>2</sub> 排出量「0」を目指した行動指針「小田急グループ カーボンニュートラル 2050」を策定！ ～ゼロカーボン ロマンسカーを運行し、TCFD の提言へ賛同します～【小田急電鉄】
- 運転エネルギー削減に向けて、山手線で省エネ運転の研究に取り組んでいます【JR 東日本】
- 「サステナビリティボンド」を発行します ～環境問題・社会課題双方の解決に資する施策に調達資金を充当～【東京メトロ】
- 沖縄県で MaaS の社会実装「沖縄スマートシフトプロジェクト」を開始 ～移動需要増大に向けたシームレスな移動手段の提供について～【第一交通産業、OTM、損保ジャパン、NTT ドコモ】
- 9 月 15 日より鉄道・バスでの顔認証乗車システム実証実験を開始します【山万、パナソニック、ジョルダン】
- 阪急×阪神×東急が協働 ～特別企画列車「SDGs トレイン」の運行を 1 年延長します～【阪急阪神 HD、東急グループ】
- 品川駅の京浜東北線(大宮方面)と山手線(渋谷・新宿方面)のお乗り換えが便利になります【JR 東日本】
- 「JRE 農業ステーション」から首都圏消費地へ運ぶ 朝どれ農産物輸送の実証実験を実施します！【JR 東日本、農業総合研究所】
- NFC タグを活用したタッチによる新たな体験の実証実験を開始！ ～タッチでつながるサービスの拡大 まずは「お台場レインボーバス」の乗車サービスから～【JR 東日本】

- 「一関オンデマンド交通」がより便利に！ ～「よぶのる一関」としてサービスをパワーアップします～【JR 東日本】
- カレコ・カーシェアリングクラブ、トヨタの新型「MIRAI」を導入 ～トヨタ初、走れば走るほど空気をきれいにする「マイナスエミッション」を実現した燃料電池自動車（FCV）～【三井不動産リアルティ】
- Yahoo! MAP、アプリ 1 つで徒歩・車・公共交通機関のすべての移動をサポート Yahoo!カーナビとYahoo!乗換案内の機能の提供開始 ～第 1 弾として、交差点などで進行方向を音声や矢印で案内する「ターンバイターン方式のナビ」や初めに検索したルート上から前後のダイヤを簡単に変更できる「ダイヤ調整」などを導入～【Yahoo! JAPAN】
- 日本初 褐炭由来水素を利用した燃料電池発電デモと水素燃料電池ドローン飛行デモを実施しました【電源開発】
- 日本での自動運転モビリティサービス事業実現に向け、技術実証を 9 月中に開始 ～2022 年には栃木県宇都宮市・芳賀町で公道実証を実施～【ホンダ、クルーズ、GM】
- 法人・自治体の脱炭素社会に向けた再エネ・EV 等のパッケージ商品「コスモ・ゼロカボソリューション」販売開始のお知らせ【コスモ石油マーケティング】
- ブリヂストン、欧州で EV 用充電ネットワークを拡充 EVBox グループとの長期パートナーシップを締結し、持続可能なモビリティ社会の実現に貢献【BSEMIA、EVBox グループ、TSG グループ】
- 電気自動車を活用して、ブロックチェーン技術による電力直接取引の実証実験を実施。再生可能エネルギーを地産地消するエネルギーマネジメントプロジェクトにて【金沢工業大学、関西電力】
- 新型自動運転 EV での搬送サービス“eve auto”の先行受注を開始 ～eve autonomy、ティアフォー、ヤマハ発動機が共同開発～【ヤマハ発動機、ティアフォー、eve autonomy】
- 日産自動車、軽クラスの電気自動車を 2022 年度初頭に発売【日産自動車、三菱自動車】
- 電気小型トラック「eCanter」が埼玉県久喜市の学校給食を配送【三菱ふそう】
- <都心で一人勝ちするバイク>ワンタッチで一緒に電車も乗れる超コンパクトな電動原付「Aioon」が一般販売開始【Niiro】
- パーソル R&D、カーボンニュートラル燃料に対応したエンジン実験サービスを開始 ～ディーゼルエンジンでのカーボンニュートラル実現に向けた開発に貢献～【パーソル R&D】
- 環境省 自立・分散エネ補助事業にシン・エナジーが採択 ～淡路市でエネルギー自給圏を実現～【シン・エナジー】
- ドイツ 自転車インフラ整備プロジェクトへの支援を継続【ドイツ連邦環境省】

#### 4. イベント情報

- ちばトレインフェスティバル ～鉄道の安全・安心と地域の魅力を発信！～【2021/10/2～10/3】
- 第 12 回 EST 交通環境大賞表彰式・記念講演【2021/10/4】
- 四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2021【2021/10/11～10/15、10/30】
- 持続可能で強靱な都市・交通に関する国際会議 Aichi2021【2021/10/18～10/19】

- 第 14 回アジア EST 地域フォーラム【2021/10/18～10/20】
- SIP-adus Workshop 2021 ～戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第 2 期「自動運転(システムとサービスの拡張)」～(オンライン)【2021/11/9～11/10】

#### 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

---

---

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 182 回)

● バッテリー交換式二輪 EV 実証実験 e やん OSAKA

【大阪大学大学院 工学研究科 助教 葉 健人】

昨今の世界的な環境負荷低減の推進により、四輪EVをはじめとして、グリーンスローモビリティ、電動キックボード、電動車いすなど多様な「低炭素」車両が登場しています。自動二輪に関しても、自転車に近いタイプから本格的なスポーツタイプ二輪まで様々な車両が開発されており、ガソリン駆動車と比較し騒音・振動が小さくまたアクセルレスポンスが早く、運転者・周囲にとっても「低ストレス」な車両です。しかし、二輪 EV はガソリン駆動車と比較し航続距離が短いことや、充電時間が長いなどの利便性の点で課題があります。そこで、バッテリー交換式二輪 EV、およびまちなかの施設へのバッテリー交換ステーションの設置を合わせ、利便性の改善すなわち「低ストレス」化を試みるバッテリー交換式二輪 EV 実証実験「e(ええ)やん OSAKA」を2020年9月末から開始しました。これは、バッテリーが減少してきた際に自宅に重いバッテリーを持ち上がり充電をするのではなく、まちなかの施設で充電済みのバッテリーと交換し、すぐに満充電の状態ですぐ走り出せる仕組みです。実証実験では、テレマティクスを利用して収集される走行実績やバッテリー残量を解析し、利用者の利便性やエネルギー効率の観点からバッテリー交換ステーションの配置や車両シェアリングを含めた公共交通のフィーダー化などの車両の運用方法を検討しています。

また、ウィズコロナ・アフターコロナでの移動ニーズの変化、すなわち派生的・目的合理的なニーズから本源的・価値合理的なニーズへと広がりを見せる中、本実証実験では単なる利便性の検証にとどまらず、二輪 EV 利用によるライフスタイルや価値観の変化を検証しています。利用者からナラティブな体験を収集し、それらを他の利用者へ共有し、新たな使い方を想像させ、新たな体験をするという循環型の仕組みづくりを進め、(まだ、道半ばですが)バッテリー交換式二輪 EV の新たな価値づくりを行っていきたいと思います。環境のために市民が無理を強いられる仕組みでなく、楽しく・快適に利用しながら、低炭素に貢献できる、そんなモビリティシステムの構築を図っています。

加えて、この実証実験と連携し、本田技研工業、川崎重工業、スズキ、ヤマハ発動機は電動二輪車用交換式バッテリーコンソーシアムを設立し、電動二輪車用交換式バッテリーの相互利用を可能にする標準化(共通仕様)を図っています。バッテリーがメーカーを跨ぎ利用可能なだけでなく、まちなかのバッテリー交換ステーションを、災害時の電力供給源や自然エネルギーの貯蔵などの公共財としても利用可能となる足がかりとなります。

以上のように、社会に対し多大なインパクトを持ちうる新しいシステムを利用者、行政、企業などから「e(ええ)やん」といわれるような価値づくり、そして2025年大阪・関西万博のめざすSDGs達成に資する社会課題解決の仕組みづくりを目指します。

---

## 2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 182 回)

### ●官民一体で進める路線バス利用促進と環境まちづくり

【室蘭市 都市建設部 都市政策推進課 主事 福田 滉太】

室蘭市は、北海道の南西部に位置し、人口約 8 万人の鉄鋼業が栄えているものづくりのまちです。本市では市民の 72%が自家用車を利用する「車社会」の進展により、地域の主要交通である路線バスの利用が年々減少しています。

この現状を踏まえ、地域住民の足となる交通ネットワークを維持するべく、平成 30 年に室蘭市地域公共交通活性化協議会を設置しました。平成 31 年には「室蘭市地域公共交通網形成計画」を策定し、各種取り組みを開始しています。

小学生向けの取り組みとしては、平成 24 年より北海道運輸局・道南バス(株)・室蘭市が連携し「交通エコロジー教室」を開催しており、地球温暖化に関する座学と路線バス車両を用いたハイブリッドバス体験やバスの乗り方教室による環境と交通に関する教育を継続して実施しています。

高齢者向けの取り組みとしては、自宅から目的地までの紙ベースの「マイバス時刻表」の無料作成事業や、70 歳以上の高齢者のバス利用促進や免許返納支援にも資する高齢者外出支援事業を実施しています。具体的な外出支援事業として、1 ヶ月乗り放題券をお得に購入できる「ふれあいパス」の購入費用を助成しており、また、市内線を 1 乗車 100 円でお得に利用できる「ワンコインパス」を実施し、運賃の差額分を市が助成しています。これらのバス事業は、バス事業者と行政が連携して運用しています。

全年齢対象の取り組みとしては、令和 2 年からバス路線と主要な施設が一目でわかる「バスマップむろらん」を道南バス(株)・室蘭市・室蘭工業大学が協同で作成し市内各所で配付しています。

そのほか地球環境への負荷を低減する取り組みも進めており、平成 27 年に「室蘭グリーンエネルギータウン構想」を策定し、ものづくりのまちの特徴を生かしつつ、再生可能エネルギーや未利用エネルギーの地域内利用の促進、水素利用社会構築に向けた取り組みなどを推進しています。

今後も、官民が一体となり路線バスをはじめとする公共交通の利用促進を図りつつ、環境まちづくりを進めていきます。

---

### 3. ニュース／トピックス

●2021 年度 グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業の「実証調査地域」を7地域選定しました！【国土交通省】

国土交通省は、環境への負荷が少なく、狭い路地も通行が可能で、高齢者の移動手段の確保や観光客の周遊に資するグリーンスローモビリティの地域での活用に向け、地方自治体を対象に実証調査地域を募集し、審査の結果7地域を選定しました。国土交通省は今後、選定された地域において実証調査を行います。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10\\_hh\\_000257.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000257.html)

●空港脱炭素化プラットフォームの会員を募集します！ ～空港と民間企業の知恵を結集！～【国土交通省】

国土交通省は、空港の脱炭素化の推進に向け、空港関係者と省エネ・再エネ関係の技術・知見等を有する民間企業等の情報共有、協力体制の構築を後押しするため、「空港の脱炭素化に向けた官民連携プラットフォーム」について公募を開始しました。公募の一次締切は9月27日ですが、一次締切終了後も随時受付を行います。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kouku09\\_hh\\_000173.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kouku09_hh_000173.html)

●2021 年度「新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業」の2次公募を開始します！【国土交通省】

国土交通省は、発荷主・輸送事業者・着荷主等が連携計画を策定し、AIやIoT等の新技術の導入により、サプライチェーン全体の効率化を図る取組を支援します。

申請は、2021年9月1日から受け付け、期限は2021年10月6日です。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000568.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000568.html)

●水素燃料電池船の安全ガイドラインの改訂版を公表します ～水素燃料電池船の開発・実用化がより一層促進されます～【国土交通省】

国土交通省は、「水素燃料電池船の安全ガイドライン」の内容を見直し、改訂しました。これにより、水素燃料電池船の開発・実用化が一層促進されることが期待されます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07\\_hh\\_000209.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07_hh_000209.html)

●社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業(うちLNG燃料システム等導入促進事業)の公募について【国土交通省、環境省】

国土交通省は環境省と連携し、船舶からの更なるCO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、LNG燃料船の普及促進を図るため、LNG燃料システム等の導入を促進する事業の2次公募を行いました。公募期間は9月28日までです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07\\_hh\\_000212.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07_hh_000212.html)

●物流分野におけるドローンの活用【国土交通省】

国土交通省は、過疎地域等における輸配送の効率を向上等させることによる物流網の維持を図るとともに、買い物における不便を解消する等生活の利便を抜本的に改善させ、併せて運輸部門の温室効果ガスを削減するため、災害時も含めた新たな物流手段として無人航空機の導入等を支援する「過疎地域等における無人航空機を活用した物流実用化事業」の公募を開始しました。公募期間は9月30日までです。

[https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu\\_tk\\_000024.html](https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_tk_000024.html)

●2021年度電動トラック・バスにおける性能評価実証事業の二次公募について【環境省】

環境省は、2021年度電動トラック・バスにおける性能評価実証事業の二次公募を開始しました。公募期間は9月30日までです。

<http://www.env.go.jp/press/109909.html>

●2021年度バッテリー交換式EV開発および再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業の1次公募採択結果について【環境省】

環境省では、脱炭素社会構築に向けた運輸部門等の脱炭素化を実現するため「バッテリー交換式EV開発および再エネ活用の組み合わせによるセクターカップリング実証事業」を実施しています。本事業の公募で5件の応募があり、審査の結果、うち2件を採択しました。

<http://www.env.go.jp/press/109951.html>

●日産自動車、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結【環境省、日産】

日産自動車株式会社は、14日、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結しました。自動車産業の企業が、環境省と本パートナーシップを締結するのは、初めてとなります。

日産自動車は、2018年5月より、EVの普及を通じて、環境、防災、エネルギーマネジメント、観光、過疎などの地域課題解決を目指す、日本電動化アクション『ブルー・スイッチ』を推進しています。今回のパートナーシップは、この『ブルー・スイッチ』活動の一環として、EVを観光に活用し国立公園の魅力を発信する上で、国立公園を管理する環境省と相互に協力しあうことを目的に締結されました。日産の『ブルー・スイッチ』活動としては、141件目の取り組みとなります。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-93a33f4b8e6462d7cb9e10107e14a1cf-210914-00-j>

●中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス ～高畠町自動運転サービスの長期実証実験を10月11日(月)から開始します～【東北地方整備局、高畠町】

2017年度に実施した、道の駅「たかはた」を拠点とした自動運転サービスの実証実験の結果や2021年度開催した地域実験協議会での検討を踏まえ、東北地方整備局と高畠町は、町中心部において長期間(33日間)の実証実験を行います。

[http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/88484\\_1.pdf](http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/88484_1.pdf)



●電動キックボード等で公道を走る場合について ～道路運送車両の保安基準に適合していないといけません～【関東運輸局】

電動機キックボード等で公道を走る場合には、道路運送車両の保安基準に適合していないといけません。その他にも、ナンバー取付や自賠責保険への加入、運転免許等の交通ルールを守る必要があります。

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000244182.pdf>

●2021 年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰「京都バス株式会社」「八尾市グリーン交通・配送推進協議会」が受賞【近畿運輸局】

近畿運輸局では、CO<sub>2</sub> 排出量の削減をはじめ、交通に関する環境改善への取り組みの成果が顕著であると認められた事業者等に対して、交通関係環境保全優良事業者等表彰を行っており、2021 年度は「京都バス株式会社」と「八尾市グリーン交通・配送推進協議会」の 2 者を表彰することとなりました。

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/content/4pdf21-49.pdf>

●交通防災情報統合 web サイト「はこぼうマップ」の実証実験を開始【箱根町、横浜国立大学】

箱根町と横浜国立大学は、2018 年 2 月に包括連携協定を締結し、教育、地域（観光）経済、まちづくりなどの分野で連携事業を展開しています。箱根町が、町内外へ向けた地域交通や防災面における情報発信に課題を抱えていた中で、横浜国立大学大学院と協力して交通防災情報統合 web サイトを開発し、今後の効果的な情報発信手法に繋げるため、実証実験を開始しました。

<https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/26796/detail.html>

●空飛ぶクルマの実現に向けた実証実験」に対する補助金の交付を決定しました【大阪府】

大阪府では、“空飛ぶクルマ”の実現に向け、将来大阪において事業化をめざす事業者が主体となった実証実験に対して、必要な経費の一部を補助することとしています。

本補助事業について、事業計画を審査した結果、申請のあった 7 件のうち 5 件に対し、補助金の交付を決定しました。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=42150>

●神戸市との協働による 2021 年度上半期 Urban Innovation KOBE に採択 ～余暇・観光 MaaS アプリ「Horai」を用いた地域住民の潜在的ニーズの発掘により、with/after コロナのライフスタイルの多様化に伴う新たなマイクロツーリズムの促進を目指す～【神戸市、scheme verge】

scheme verge 株式会社は、神戸市がスタートアップと協働で地域課題を解決するプロジェクト Urban Innovation KOBE の 2021 年度上半期課題「with/after コロナを見据えた、公

公共交通の利用促進プロジェクト」に採択されました。

2021年9月より約4ヶ月間、神戸市交通局営業推進課との協働により MaaS アプリ「Horai」を用いた実証実験を行います。

<https://www.schemeverge.com/posts/news-20210914>

●2050年にCO<sub>2</sub>排出量「0」を目指した行動指針「小田急グループカーボンニュートラル2050」を策定！～ゼロカーボンロマンスカーを運行し、TCFDの提言へ賛同します～【小田急電鉄】

小田急電鉄株式会社は、2050年に小田急グループのCO<sub>2</sub>排出量実質「0」の達成に向けて、「小田急グループカーボンニュートラル2050」を策定しました。本指針の実現に向けた最初の取り組みとして、2021年10月から2022年2月まで、ロマンスカー・VSEを「ゼロカーボンロマンスカー」として運行するとともに、気候関連財務情報開示タスクフォースによる提言へ賛同を表明し、この提言に基づく情報開示を進めます。

<https://www.odakyu.jp/news/o5oaa1000002024b-att/o5oaa1000002024i.pdf>

●運転エネルギー削減に向けて、山手線で省エネ運転の研究に取り組んでいます【JR東日本】

JR東日本グループは、将来にわたり環境優位性を向上し、社会に新たな価値を創造する企業グループであり続けるために、2050年度のCO<sub>2</sub>排出量「実質ゼロ」をJR東日本グループ全体の長期目標に設定しました。

JR東日本で消費しているエネルギーの約8割が列車の運転エネルギーです。この運転エネルギー削減を目指し、省エネ運転の研究に取り組んでいます。山手線を運行しているE235系電車は、従来の電車に比べて機器の省エネ性能が向上していますが、乗務員の運転操作により、さらなる運転エネルギーの削減を目指しています。

山手線の乗務員が省エネ運転を試行した結果、約10%の運転エネルギー削減効果があることが分かりました。

[https://www.jreast.co.jp/press/2021/20210907\\_ho03.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2021/20210907_ho03.pdf)

●「サステナビリティボンド」を発行します～環境問題・社会課題双方の解決に資する施策に調達資金を充当～【東京メトロ】

東京地下鉄株式会社は、環境問題・社会課題双方の解決に資する施策に充当する資金の調達手段として、2020年度に続き2回目となる「サステナビリティボンド」を2021年10月に発行します。

[https://www.tokyoMetro.jp/news/images\\_h/metroNews210831\\_43.pdf](https://www.tokyoMetro.jp/news/images_h/metroNews210831_43.pdf)

●沖縄県で MaaS の社会実装「沖縄スマートシフトプロジェクト」を開始～移動需要増大に向けたシームレスな移動手段の提供について～【第一交通産業、OTM、損保ジャパン、NTTドコモ】

第一交通産業グループは、国土交通省の2021年度「日本版 MaaS 推進・支援事業」に応

募し、2021年8月23日に新規採択されました。沖縄県で株式会社 OTM や損害保険ジャパン株式会社、株式会社 NTT ドコモ九州支社と協働し、2022年1月よりバスや船舶などあらゆる交通モードをつなげ、シームレスな移動を実現する MaaS の社会実装の取組を始めます。

今後、沖縄県へは国内外からの観光客の増大が見込まれ、交通渋滞や環境問題などが顕在化することが予想されます。このような社会課題解決に向けて、トヨタグループの MaaS アプリ「Myroute」を用い、交通事業モードだけでなく、非交通サービスも繋ぐことで利便性やお得感を醸成しながら行動変容を促します。

[https://www.daiichi-koutsu.co.jp/group/gaiyou/data/pdf/r3topics/210907okinawa\\_MaaS.pdf](https://www.daiichi-koutsu.co.jp/group/gaiyou/data/pdf/r3topics/210907okinawa_MaaS.pdf)

●9月15日より鉄道・バスでの顔認証乗車システム実証実験を開始します【山万、パナソニック、ジョルダン】

山万株式会社は、業界初のフラッパーレスでポール型の顔認証改札を採用した、鉄道とバス(マルチモーダル交通体系)での顔認証乗車システム実証実験を開始しました。

山万・パナソニック株式会社コネクティッドソリューションズ社・ジョルダン株式会社の3社共同で、近未来を想像させる新しい公共交通スタイルの可能性、利用者の利便性、実用性、街のサービスとしてのあり方の検討と構築の実証を通じて取り組みます。

<https://www.yamaman.co.jp/news/news.php?id=13>

●阪急×阪神×東急が協働 ～特別企画列車「SDGs トレイン」の運行を1年延長します～【阪急阪神 HD、東急グループ】

阪急阪神ホールディングス株式会社と東急グループは、SDGs の達成に向けた多様なメッセージを発信する特別企画列車「SDGs トレイン 2020」を、国や自治体・企業・市民団体等と連携して、1年間の予定で運行してきましたが、その期間を1年延長し、「SDGs トレイン 2021」として運行を継続することにしました。

<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20210826-1.pdf>

●品川駅の京浜東北線(大宮方面)と山手線(渋谷・新宿方面)のお乗り換えが便利になります【JR 東日本】

品川駅の京浜東北線(大宮方面)と山手線外回り(渋谷・新宿方面)の乗り換えは、現在、階段・コンコースを経由しますが、2021年12月5日始発電車から同一ホームで乗り換えが可能になります。1番線ホームは、山手線内回り(東京・上野方面)の専用ホームとなり、混雑緩和を図ります。

[https://www.jreast.co.jp/press/2021/tokyo/20210914\\_to01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2021/tokyo/20210914_to01.pdf)

●「JRE 農業ステーション」から首都圏消費地へ運ぶ 朝どれ農産物輸送の実証実験を実施します!【JR 東日本、農業総合研究所】

東日本旅客鉄道株式会社は、グループ経営ビジョン「変革 2027」で掲げる「地方を豊か

に」する取り組みの一環として、株式会社農業総合研究所との提携を通じた農業の活性化により、地方創生に貢献します。

JR 東日本は「ローカル DX」の推進の一環として、中央線の列車を活用し「JRE 農業ステーション」から首都圏消費地へ朝どれ農産物を輸送する実証実験を実施しました。

[https://www.jreast.co.jp/press/2021/20210913\\_ho01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2021/20210913_ho01.pdf)

●NFC タグを活用したタッチによる新たな体験の実証実験を開始！～タッチでつながるサービスの拡大 まずは「お台場レインボーバス」の乗車サービスから～【JR 東日本】

東日本旅客鉄道株式会社は、グループ経営ビジョン「変革 2027」における「シームレスな移動の実現」および「Suicaの共通基盤化」へ向けて、スマートフォンをNFCタグにタッチすることでバスに乗車できるサービスの実証実験を開始します。実証実験は、「お台場レインボーバス」にて9月16日から開始し、スマートフォンのタッチによる新しいサービスの利用体験を提供します。

また、NFC タグによるサービスが受けられる箇所を分かりやすく伝えるために、共通タッチマーク「s-Touch」マークを導入します。

[https://www.jreast.co.jp/press/2021/20210907\\_ho02.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2021/20210907_ho02.pdf)

●「一関オンデマンド交通」がより便利に！～「よぶのる一関」としてサービスをパワーアップします～【JR 東日本】

東日本旅客鉄道株式会社では、東北デスティネーションキャンペーン(4月1日～9月30日)の開催にあわせ、観光地における移動の利便性を高めるべく「TOHOKU MaaS」を各地で展開しています。

一関エリアでは「一関オンデマンド交通」を運行し、観光客だけでなく地域住民の日々の生活にも便利な移動サービスを提供しています。一関オンデマンド交通の愛称名を「よぶのる一関」とし、サービス内容を拡充して2021年10月1日から2022年3月31日まで運行を継続します。

現在バス停方式で運行しているオンデマンド交通を、対象エリア内であれば自由に乗降地点を設定できるフルデマンド方式として運行するほか、こども運賃の新設、Suicaに加え現金でのお支払いも可能となるなど、これまで以上に移動が便利になります。

[https://www.jreast.co.jp/press/2021/morioka/20210916\\_mr01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2021/morioka/20210916_mr01.pdf)

●カレコ・カーシェアリングクラブ、トヨタの新型「MIRAI」を導入～トヨタ初、走れば走るほど空気をきれいにする「マイナスエミッション」を実現した燃料電池自動車(FCV)～【三井不動産リアルティ】

三井不動産リアルティ株式会社は、同社が運営する会員制サービス「カレコ・カーシェアリングクラブ」において、2021年8月26日より、トヨタの新型「MIRAI」を導入しました。

[https://www.mf-realty.jp/news/2021/20210826\\_01.html](https://www.mf-realty.jp/news/2021/20210826_01.html)

●Yahoo! MAP、アプリ1つで徒歩・車・公共交通機関のすべての移動をサポート Yahoo!カ

ーナビとYahoo!乗換案内の機能の提供開始 ～第1弾として、交差点などで進行方向を音声や矢印で案内する「ターンバイターン方式のナビ」や初めに検索したルート上から前後のダイヤを簡単に変更できる「ダイヤ調整」などを導入～【Yahoo! JAPAN】

ヤフー株式会社が提供する「Yahoo! MAP」は9月2日、ユーザーがスムーズに徒歩や車、公共交通機関を利用した移動ができるように「Yahoo!カーナビ」と「Yahoo!乗換案内」の一部機能を導入し、「Yahoo! MAP」の「徒歩案内」に新たな機能の提供を開始しました。

<https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2021/09/02a/>

●日本初 褐炭由来水素を利用した燃料電池発電デモと水素燃料電池ドローン飛行デモを実施しました【電源開発】

電源開発株式会社が水素製造の分野で参画している未利用褐炭由来水素大規模海上輸送サプライチェーン構築実証事業において、豪州で褐炭から製造した水素の利用試験を、2021年9月8日にメディア向けに公開しました。

<https://www.jpower.co.jp/oshirase/2021/09/oshirase210909.html>

●日本での自動運転モビリティサービス事業実現に向け、技術実証を9月中に開始 ～2022年には栃木県宇都宮市・芳賀町で公道実証を実施～【ホンダ、クルーズ、GM】

Hondaは、GMクルーズホールディングスLLC、ゼネラルモーターズと共同で展開予定の日本での自動運転モビリティサービス事業に向け、自動運転技術に関する技術実証を、2021年9月中に開始します。

自動運転モビリティサービスの技術実証は、宇都宮市・芳賀町において実施します。まず、自動運転車両がより安全に走行するための準備として、地図作成車両を用いた高精度地図の作成を行います。高精度地図の準備が整い次第、自動運転車両「クルーズ AV」による公道走行を通じて、日本の交通環境や関連法令などに合わせた自動運転技術を開発・検証します。

<https://www.honda.co.jp/news/2021/c210908.html>

●法人・自治体の脱炭素社会に向けた再エネ・EV等のパッケージ商品「コスモ・ゼロカボソリューション」販売開始のお知らせ【コスモ石油マーケティング】

コスモ石油マーケティング株式会社は、法人や自治体の脱炭素社会に向けた再生可能エネルギー及びEV等の導入、並びにその効果的な活用をワンストップで支援する商品「コスモ・ゼロカボソリューション」の販売を開始しました。

[https://com.cosmo-oil.co.jp/press/p\\_210915/index.html](https://com.cosmo-oil.co.jp/press/p_210915/index.html)

●ブリヂストン、欧州でEV用充電ネットワークを拡充 EVBoxグループとの長期パートナーシップを締結し、持続可能なモビリティ社会の実現に貢献【BSEMIA、EVBoxグループ、TSGグループ】

ブリヂストンの欧州グループ会社ブリヂストンヨーロッパエヌヴィーエスターは、電気自動車のための充電ソリューションのリーディングカンパニーである EVBox グループおよびそのパートナーである TSG グループと長期パートナーシップを締結し、欧州にて、ブリヂストングループの小売・ソリューション網を活用し、EV 用充電ネットワークを拡充します。

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/pdf/2021091001.pdf>

●電気自動車を活用して、ブロックチェーン技術による電力直接取引の実証実験を実施。再生可能エネルギーを地産地消するエネルギーマネジメントプロジェクトにて【金沢工業大学、関西電力】

金沢工業大学は、関西電力株式会社と共同で、ブロックチェーンの技術を使った「電力直接取引」の実証実験を行いました。

白山麓キャンパスを実証実験フィールドとして、2020年2月中旬～2021年3月下旬の期間に実証実験を行い、分析を進めてきました。今回の実証実験は、再生可能エネルギーや蓄電池・電気自動車・熱活用などを組み合わせた小規模エリア電力制御システムを構築する「エネルギーマネジメントプロジェクト」の取り組みの一環でした。実験にあたっては、関西電力が実証研究しているブロックチェーン技術を利用したプラットフォームを活用し、電気自動車や、白山麓キャンパスに構築した小規模エリア電力制御システムを組み合わせ、電力直接取引の円滑な実施を検証しました。キャンパス内に設置されている太陽光、風力、バイオマスなどの発電設備や蓄電池からの電力供給を「電力の売り手」、教職員の寄宿舎の電力消費を「電力の買い手」として、両者の発電量や電力消費量に基づき、電力の直接取引を行いました。

[https://www.kanazawa-it.ac.jp/kitnews/2021/0908\\_energy.html](https://www.kanazawa-it.ac.jp/kitnews/2021/0908_energy.html)

●新型自動運転 EV での搬送サービス“eve auto”の先行受注を開始 ～eve autonomy、ティアフォー、ヤマハ発動機が共同開発～【ヤマハ発動機、ティアフォー、eve autonomy】

ヤマハ発動機株式会社は、株式会社ティアフォー、および同社と 2020 年に設立した合併会社「株式会社 eve autonomy」とともに、三社で新型自動運転 EV を開発しました。また、eve autonomy では、同車両を用いた自動搬送サービス“eve auto”の 2022 年夏からの提供開始に向け、9 月 1 日より先行受注を開始しました。

<https://global.yamaha-motor.com/jp/news/2021/0901/corporate.html>

●日産自動車、軽クラスの電気自動車を 2022 年度初頭に発売【日産自動車、三菱自動車】

日産自動車株式会社は、三菱自動車との共同プロジェクトとして NMKV で企画・開発を進めている新型の軽クラスの EV を、2022 年度初頭に日本国内で発売します。

<https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/release-e502610b72cdc20c7a5ee237580dac03-210827-01-j>

●電気小型トラック「eCanter」が埼玉県久喜市の学校給食を配送【三菱ふそう】

三菱ふそうトラック・バス株式会社は、久喜市が 8 月に新たに開設した給食センターからの



車置き場、地域交通機関が実施する自転車レンタルシステムなど、自転車交通インフラの拡張プロジェクトが対象となります。これまで既に 59 件以上の単体プロジェクトと 31 件の共同プロジェクトに対し、約 1 億 6,000 万ユーロが支援されています。進行中・完成プロジェクトで、年間約 42,000 トンの温室効果ガス排出量の削減を達成する見込みです。

<https://www.bmud.de/pressemitteilung/bmu-uebernimmt-fuer-finanzschwache-kommunen-de-gesamtkosten-modellhafter-radverkehrs-projekte>



---

#### 4. イベント情報

●ちばトレインフェスティバル ～鉄道の安全・安心と地域の魅力を発信！～

日時:2021年10月2日(土)～10月3日(日) 10:00～16:00

場所:JR 両国駅

主催:東日本旅客鉄道株式会社千葉支社

<https://www.jreast.co.jp/chiba/chibatrainfestival/>

●第12回 EST 交通環境大賞表彰式・記念講演

日時:2021年10月4日(月) 14:00～16:30

場所:オンライン配信

主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/forum14.html>

●四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2021

日時:愛媛会場 10月11日(月)～15日(金)

徳島会場 10月30日(土) 10:00～13:00

高知会場 延期、未定

香川会場 未定(香川県 HP にてご確認ください)

場所:愛媛会場 愛媛県庁第一別館1階ロビー

徳島会場(あすたむらんど徳島(ジャンボパラソル内))

高知会場 延期、未定

香川会場 未定(香川県 HP にてご確認ください)

主催:四国公共交通利用促進協議会

<https://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2017/2021-0903-1347-3.html>

●持続可能で強靱な都市・交通に関する国際会議 Aichi2021

日時:2021年10月18日(月)～19日(火)

場所:愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」及びオンライン開催

主催:国土交通省(協力:外務省、総務省、経済産業省、環境省)

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07\\_hh\\_000602.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000602.html)

●第14回アジア EST 地域フォーラム

日時:2021年10月18日(月)～20日(水)

場所:愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」及びオンライン開催

主催:日本国環境省、国際連合地域開発センター(UNCRD)、

国際連合アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP) 、  
国際連合経済社会局(UNDESA)、アジア開発銀行(ADB)

<http://www.env.go.jp/press/110022.html>

●SIP-adus Workshop 2021 ～戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期「自動運  
転(システムとサービスの拡張)」～

日時:2021年11月9日(火)、11月10日(水)

場所:オンライン開催

主催:内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20210707sipadus.html>

---

## 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

[http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://mm-education.jp/magazine.html>

- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！

[http://www.ecomo.or.jp/environment/nev/nev\\_top.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/nev/nev_top.html)

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<http://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<http://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecom.o.or.jp](mailto:magazine@ecom.o.or.jp)(担当:熊井)

---

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>